

## CONTENTS

- 1 「みえこさんのにほんご」がネットで購入できます！  
医療通訳育成研修、災害時語学サポーター養成研修
- 2 国際交流・多文化理解の講師紹介、通訳・翻訳パー  
トナー制度改正、多言語相談窓口、実践研究会他
- 3 JICA からのお知らせ
- 4 ご寄付のお礼とご支援のお願い

## 「みえこさんのにほんご」がネットで購入できます！

県内外からご好評いただいているMIEF発行日本語教材「みえこさんのにほんご」シリーズが、日本語教育専門書店として有名な株式会社凡人社（ほんじんしゃ）のウェブサイトより購入できるようになりました（<http://bonjinsha.com/> ※「三重県国際交流財団」で検索していただくと便利です）。ぜひご利用ください。

なお、県内公立学校および幼稚園の方、無償教材をご希望の方は、従来どおりMIEFにご注文ください。詳しくはMIEFのHPをご覧ください。[http://www.mief.or.jp/jp/mief\\_kyozai.html](http://www.mief.or.jp/jp/mief_kyozai.html)

また、今年度より一部教材価格を改定させていただきました。引き続き、外国人児童生徒の日本語教育支援に努めてまいりますので、何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。

### <対象教材および価格>

教材名	価格
1. 新版 みえこさんのにほんご	1,300 円
2. 新版 続みえこさんの日本語	1,300 円
3. 新版 みえこさんのにほんご れんしゅうちょう1	1,300 円
4. 新版 みえこさんのにほんご れんしゅうちょう2	1,100 円
5. 新版 みえこさんのにほんご 指導のアクセス	1,400 円
6. 新版 続みえこさんの日本語 指導のアクセス	1,500 円



## 平成 30 年度 事業紹介

平成 30 年度、MIEF では多文化共生社会の推進、国際交流の促進、国際協力の拡充にかかる 30 事業の実施を予定しています。今回、その中から主な 7 事業についてご紹介します。ぜひご利用、ご参加ください。

### 医療通訳育成研修

県内に暮らす外国人住民の増加（47,665 人、前年比 9.7% 増）や訪日外国人の増加にともない、体調不良で病院を受診する方も増えていますが、多くの場合、医療スタッフと満足な意思疎通をすることが難しく問題を抱えています。一方、医療機関側も外国人患者の対応に苦慮しており、双方のコミュニケーションを支援する通訳の必要性を認める声が高まっています。

このような中、MIEF では医療機関が求めるスキルを持つ医療通訳者の育成に取り組んでおり、今年度も育成研修を実施する予定をしております。

詳しくはコチラ

<http://www.mief.or.jp/jp/iryuu.html>



医療通訳業務を見学する  
医療通訳育成研修受講者

### 災害時語学サポーター養成研修 募集中！

災害時には、被災状況や支援情報などの情報を正しく、タイムリーに得ることが大切です。しかし、県内に暮らす外国人住民の中には、専門用語が多く飛び交う災害情報を理解できない方が多くいます。

このような中、地震や水害、台風などの大規模災害が起こった際、日本語での情報を得にくい人たちを言語の面でサポートする人材が必要不可欠です。

MIEF では、各市町の避難所や地域の災害時多言語支援センターにおいて災害情報を通訳・翻訳するなど、的確に活動できる人材の育成を目指し、今年度、災害時語学サポーター養成研修を実施します。

詳しくはコチラ

<http://www.mief.or.jp/jp/saigai.html#support>



外国人被災者からニーズを  
聞き取る災害時語学サポーター

## 国際交流・多文化理解の講師を紹介し募集！

MIEF では、国際交流・多文化理解の講師を紹介しています。現在、今年度の依頼分の応募を受付しています。皆さまの多文化理解の一助として、ぜひご活用ください。

- ◆対象：三重県内の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、行政機関、各種団体等
- ◆募集期間：平成 30 年 6 月 25 日（月）から 7 月 31 日（火）まで
- ◆実施期間：平成 30 年 9 月 10 日（月）から平成 31 年 2 月 28 日（木）まで
- ◆講師：三重県在住の外国人の方や留学生、外国の生活や文化に詳しい日本人の方
- ◆費用：1 時間まで 15,000 円＋交通費実費  
2 時間まで 20,000 円＋交通費実費

詳しくはコチラ

<http://www.mief.or.jp/jp/koushishoukai.html>

## 日本語教材をお譲りします

現在 M I E F にある古い日本語教材等を整理するため、1 冊 50 円以上の寄付金をいただいて皆さまにお譲りしています。

寄付金は、新しい教材購入のために活用したいと考えております。ご協力よろしく申し上げます。

なお、教材がなくなり次第終了となりますので、ご了承ください。

## 多言語相談窓口について

MIEF では、外国人住民の方々が毎日の生活の中で感じる疑問や悩みごとの相談に対応するため、4 言語で生活相談を受けています。今年度の相談対応日は以下のとおりです。

<電話番号：059-223-5006>

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
時間：午前 9：00～12：00		スペイン語 ポルトガル語			スペイン語 ポルトガル語
時間：午後 13：00～17：00	英語 フィリピン語	スペイン語 ポルトガル語	英語 フィリピン語	英語 フィリピン語	スペイン語 ポルトガル語

※上記時間内で、日本語での相談対応も可能です。英語、フィリピン語の対応は、電話のみです。

## 実践研究会について 参加者募集中！

今年度も下記日程にて、外国につながる子どもたちの教育を考える、MIEF 実践研究会を行います。

- 第 1 回：7 月 23 日（月）13：30～16：30  
場 所：アスト津 4 階会議室 1  
内 容：外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント DLA の使い方『聴く』編  
講 師：東京外国語大学名誉教授 小林 幸江さん
- 第 2 回：8 月 27 日（月）13：30～16：30  
場 所：アスト津 4 階 会議室 1  
内 容：県内の取り組みから 一 鈴鹿市における外国人児童生徒のための取り組みについて

対象は、三重県内学校・園等の教職員と日本語教室、日本語学習支援者および母語支援者等広く外国人児童生徒の教育に関わる全ての方です。ぜひご参加ください。

詳しくはコチラ

<http://www.mief.or.jp/jp/jissen.html>

## 通訳・翻訳パートナー制度の改正について

通訳翻訳パートナー制度を改正しました。MIEF では、「外国人向けのイベントで通訳が必要」、「外国人児童生徒の保護者と面談をしたい」、「地域活動に外国人住民も参加してほしいのでチラシを翻訳したい」など、公益に適う内容の通訳・翻訳を支援しています。

この度利用の手引きとして、「MIEF 通訳・翻訳パートナー制度をご利用いただく前に」という案内を作成しました。同制度をよりスムーズにご利用いただくために、ぜひご一読ください。

詳しくはコチラ

[http://www.mief.or.jp/jp/partner\\_tshonyaku.html](http://www.mief.or.jp/jp/partner_tshonyaku.html)

# JICA 三重県デスクからのお知らせ

## 国際交流・国際貢献

今回は、青年海外協力隊として西アフリカのベナンに派遣されていた高木和俊さんにお話をお伺いしました。  
コミュニティ開発として2年間活動されていました。



**高木 和俊**さん【三重県名張市出身】

派遣国：ベナン共和国 職種：コミュニティ開発 派遣期間：2015年3月 から 2017年3月

### なぜ青年海外協力隊に参加されたのですか？

高校生くらいの時にテレビで協力隊のことを見て、自分も世界の困っている人の為に活動したいと思い、応募しました。

### ベナンはどんな国でしたか？

ベナンの気候は木々が生い茂る熱帯雨林気候で、じめっと蒸し暑い環境でした。ベナン人は鮮やかなアフリカ布のベナン服を身にまとい、冗談が好きで無邪気な人が多い印象を受けました。

### どのような活動をされましたか？

私の配属先は農村開発支所というところで、農畜産のベナン人技術者と農家を訪問し生活の状況把握などを行っていました。途中から私一人で自転車に乗って、農家グループを訪問して作物の生育状況や課題調査などを行っていました。遠い場所だと舗装されていないデコボコの道を1時間ほどかけて訪問したこともありました。

また、先輩隊員とベナン人がやっている裁縫所の手伝いをしたり、<sup>ぬかづ</sup>糠漬けを作って試食してもらったり、村の散策などを行っていました。

### 協力隊に参加する前の自分 *Before*

いつかアフリカに行ってみたい、将来は国際協力の世界に進みたい、そのために協力隊を通じて現場を体験してみたいと思っていました。

### 参加して変わった自分・そして今の自分、夢 *After*

協力隊に参加して2年間という長いようで短い期間ではありましたが、国際協力の現場を知ったと同時に日本の事をもっと知らなければならぬなと思いました。

現在は愛知県設楽町で地域おこし協力隊として活動しています。地域おこし協力隊では地元の事業所（牧場・建設・スーパー）で3か月ずつ研修を受けています。そこで仕事を通して地域の魅力を発信したり、事業所の改善や提案をしていく活動をしています。今年の7月に研修が修了するので、その後は空き家などを活用したゲストハウスの運営やレンタサイクルをやっていこうと考えています。

今後は国内で抱える問題にも関心を持ち、日本も世界も元気にできるようなことがしたいです。

### 高木和俊さんの『自分への勇気の言葉』

人の為に明かり灯せば、我が前明らかになる。

【JICA ボランティアについてのお問合わせ】

(公財) 三重県国際交流財団内 JICA 三重県デスク (TEL: 059-223-8003)





## ご寄附のお礼とご支援のお願い

### 長年のご寄附に心より感謝申し上げます。

MIEFは平成16年度から、長年にわたり三重県教職員組合様からご寄附をいただき、次世代を担う子どもたちのための「多文化共生教育事業」を実施しています。学校関係者の皆さまをはじめ、外国につながる子どもたちを支援されている方々に役立てていただけるよう、事業内容等の充実に努めてまいります。

また、国際ソロブチミスト三重様からも、平成16年度よりご寄附をいただき「小さなブラジル図書館」を運営しています。ポルトガル語の小説や辞書をはじめ、絵本やマンガ等869冊の図書があります。お近くにお越しの際は、ぜひ一度手に取ってご覧ください。

長年にわたるご寄附に心より感謝を申し上げますとともに、引き続きご支援いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。



外国につながる子どもたちへの初期日本語指導の方法や、県内小中高等学校の取り組み事例について理解を深める実践研究会



小さなブラジル図書館蔵書  
(ポルトガル語の小説、辞書、絵本など)

### ご支援のお願い

当財団は、皆さまからの寄附金をはじめ、賛助会費、助成金、委託事業費、基本財産の運用益等により運営をしています。しかしながら、超低金利による運用益の減少、財政難による行政等からの委託事業の減少など、大変厳しい運営状況が続いております。今後も外国につながりを持つ子どもたちや地域を支える担い手となる外国人住民の方々と、共に生きる社会づくりを推進していくために、これまで以上に多くの皆さまからのご支援をお願い申し上げます。

ご支援いただくには、次の3つの方法があります。

- ① **賛助会員** 当財団の活動趣旨にご賛同いただく個人・団体の方に賛助会費によりご支援いただく方法です。(賛助会費 個人：1口 3,000円、団体：1口 12,000円)  
※財団パートナー登録者は、1口 1,000円で賛助会員になっていただけます。
- ② **寄附** 医療、災害、教育など特定の事業あるいは、財団の運営全般にもご寄附いただけます。
- ③ **出捐** 基本財産にご寄附いただく方法です。固定資産として運用させていただきます。

いずれも、次の口座で受付しています。「賛助会費」、「寄附金」、「出捐金」いずれかがわかるよう、事前にご相談やご連絡をいただくと幸いです。

#### 《ご入金先》

ゆうちょ銀行 0八九店 当座0018074 □座名義人：公益財団法人三重県国際交流財団  
百五銀行 津駅前支店 普通292889 □座名義人：公益財団法人三重県国際交流財団賛助会費□

<賛助会費のご入金ありがとうございました> 平成30年2月1日から5月31日。順不同・敬称略

**団体会員様**：三重県国公立幼稚園・こども園長会、連合三重、学校法人皇學館

**個人会員様**：黒崎龍一、高野谷久、富田康成、南川正美

**パートナー会員様**：荒木真佐子、鬼頭さやか、窪田紀子、倉田麻里、坂倉マリア、白戸まさみ、田中クリッチャー、菅野孝、王文齡、寺田実智子

開館案内 開館：月～金 9：00～17：00 / 閉館：土・日・祝日・年末年始

発行 (公財)三重県国際交流財団 (MIEF)

〒514-0009 三重県津市羽所町700番地 アスト津3階 TEL 059-223-5006 FAX 059-223-5007

ホームページアドレス：http://www.mief.or.jp/ Eメールアドレス：mief@mief.or.jp

Facebook：公益財団法人三重県国際交流財団 (MIEF) Twitter：@MIEFsince1991

